

# まちなかのニュース

ほっと



市内のイベントを随時発信!

十和田市ブログ駒の里

検索

## 3/16 スポーツ文化ツーリズムアワード2016 市がスポーツ流鏝馬で文化庁長官賞

スポーツと文化・芸術を組み合わせた観光誘客などの取り組みをたたえる「スポーツ文化ツーリズムアワード2016」(スポーツ庁、文化庁、観光庁主催)において、本市が「スポーツ流鏝馬大会」で文化庁長官賞を受賞しました。これは、春の桜流鏝馬、秋の世界流鏝馬選手権の開催を通じて、今後の発展性や乗馬文化普及への貢献などが評価されたものです。市では引き続き、馬産地として栄えた地域の歴史を生かした観光振興に取り組みます。



表彰式では、宮田亮平文化庁長官から市職員に賞状が手渡されました(東京都港区)



奥入瀬渓流の雪解けのせせらぎ音や、陶器が窯から取り出された時に生じる貫入かんにゅうの音などが聞こえてきます

## 3/11~5/28 日本の陶芸文化は漫画と同じくらい深く広い 村上隆のスーパーフラット現代陶芸考

市現代美術館で、企画展「村上隆のスーパーフラット現代陶芸考」が開催されています。アーティストとしてだけでなく、コレクター、キュレーターとして活躍する村上さんが、近年特に興味を持っているのが日本の現代陶芸。この展示では、村上コレクションから、28人の作家が制作した約1800点の陶芸作品が展示されています。

村上さんは「身近な芸術体験として楽しんでほしい」と期待を寄せました。

## 3/9 春の訪れとともに新たな旅立ち 北里大学学位記授与式

市民文化センターで、北里大学学位記授与式が行われ、獣医学科、動物資源科学科、生物環境科学科の学部生347人と大学院獣医学系研究科生21人に学位記が手渡されました。式では、卒業生を代表し、動物資源科学科4年の湯本遙さんが「北里柴三郎先生の教えである『開拓』『報恩』『叡智と実践』『不撓不屈』の精神を胸に刻み、社会という荒波の中を果敢に進んでまいります」と答辞を述べました。



獣医学科132人、動物資源科学科129人、生物環境科学科86人の学位記を、代表して各科の総代が授与されました



短編小説の主人公の設定や方言など、とても身近に感じながらも、不思議な感覚の漂う「まちなか美術館」

## 3/3-26 まちなか美術館へようこそ 「東の熊、青い森の幽霊」

旧エースカメラ店舗で、まちなか美術館「東の熊、青い森の幽霊」(十和田奥入瀬プロジェクト)が開催されました。作者は大久保ありさん。本市に滞在して執筆した短編小説をもとに、写真、映像、オブジェなどを用いて特別な空間をつくりだしています。大久保ありさんは、「この場所において、この場所を感じつつ、別の場所を感じられる場所を表現しました。ぜひ想像をふくらませて、自由に見てほしい」と話していました。